

# BARONESS

## 取扱説明書

パロネス スーパーブロワー  
SB 80

 **警告**

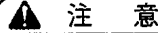

ご使用前に、必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。  
取扱説明書の指示内容を守ってください。  
守らなかった場合は、死亡または重傷事故を起こす恐れがあります。

## ▲ 注意

- この取扱説明書は、いつでも読めるように、紛失、汚損のおそれのない、すぐ取り出せる所に必ず保管してください。
- この説明書が損傷により読めなくなった場合、紛失した場合は、販売店より新しく取扱説明書を購入し、常に参照できるように保管してください。
- この取扱説明書で解説している機械を、貸与する場合、借りて作業をする人に、この取扱説明書を読ませ、十分な指示、訓練を行った後、この取扱説明書とともに機械を貸与してください。
- 製品を譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡してください。
- ご不明なことやお気付きのことがございましたら、販売店にご相談ください。

## 警告表示マークの意味

- この取扱説明書で解説されている機械には、下表の「警告表示マーク」のラベルが貼付してあります。ご使用前に「警告表示マークの位置」を、本機「各部の名称」の項で確認し、マークの意味を理解してください。
- 万一、ラベルが破滅したり破損して読めなくなった場合や、はがれて紛失した場合は販売店より、新しくラベルを購入し、「各部の名称」に指示してある箇所に貼り、常にマークが読める状態を維持してください。

警告表示マークと解説	警告表示マークと解説
 <p><b>注意</b> ご使用前に必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。</p>	 <p><b>注意</b> ● 作業中は、かならず保護めがね、保護マスク、耳栓、保護衣を使用してください。</p>

## はじめに

- ・パロネススーパーブローワー SB80をお買い上げいただき、ありがとうございます。
- ・この機械は、軽量・小型に製造されたガソリンエンジン付ブローワーです。
- ・このブローワーは色々なゴミや落ち葉を吹き払うために使用するものであり、目的以外には使用しないでください。
- ・この取扱説明書には、組立や操作、整備に必要な事項が書かれていますので正しく効果的な製品の取扱いができるよう、よく読んで理解してください。

## 目次

はじめに .....	1
各部の名称 .....	2
正しい作業のために .....	2
組立 .....	4
操作方法 .....	8
点検・整備 .....	9
故障診断と対策 .....	12
保管 .....	17
仕様 .....	18
仕様 .....	19

- ・本書に記載されている仕様や解説あるいは説明のために例にあげ、図示されている内容は、改良のため予告なしに変更することがあります。
- ・図示されている内容には、特別注文品（オプション）やアクセサリを使用した場合も含まれ、すべての標準装備が含まれている訳ではありません。

## ▲ 危険・警告

- ・正しい操作のための警告・注意を注意深くよく読んで理解すること。
- ・正確で正しい操作のために、この取扱説明書を必ず読むこと。



**危険・警告**という言葉とともに使われるこの記号は、回復できない身体の損傷をともなうケガや死に至る危険が起る可能性のある操作や状態を強調する場合に使われます。



丸に左斜線の入ったこの記号は、表示されているものが全て禁止されていることを表わします。

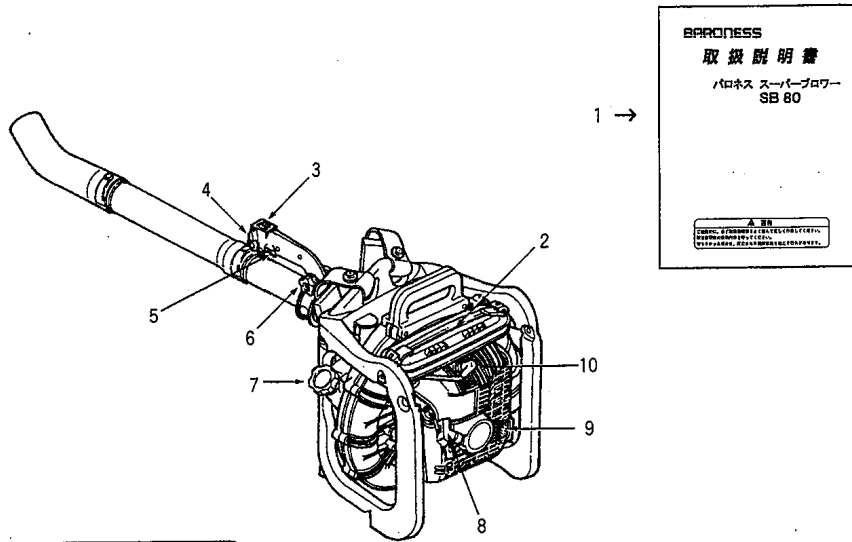
## ▲ 注意

この取扱説明書で「注意」と言う言葉は、避けられなかった場合、軽いケガや切りキズが起る可能性がある状態を強調する場合に使われます。

## 重要

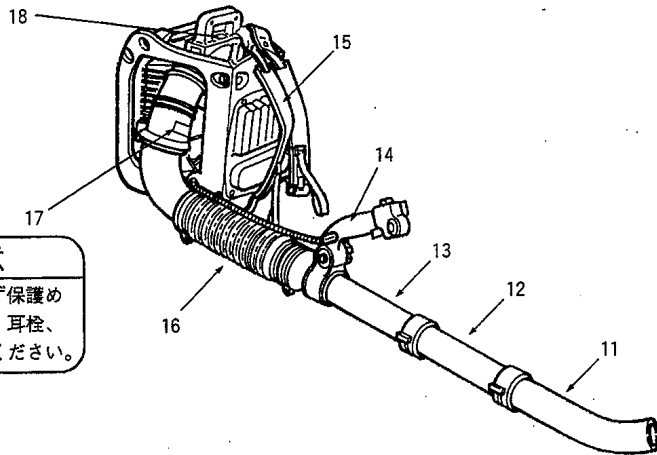
重要として囲まれた文章は、この取扱説明書で説明されている機械の使用、点検、保守・保管に関する注意事項です。

## 各部の名称



### 注意

ご使用前に必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。



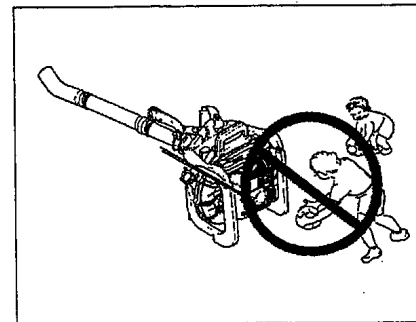
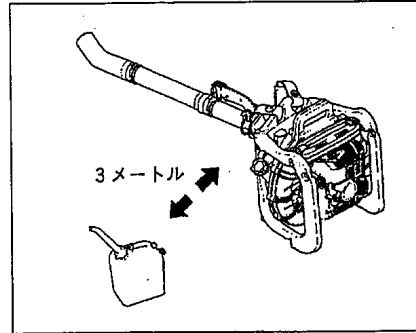
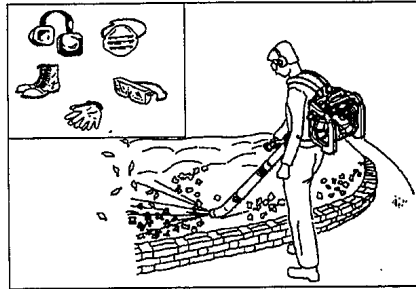
### 注意

●作業中は、かならず保護めがね、保護マスク、耳栓、保護衣を使用してください。

## 各部の名称

- |                        |  |
|------------------------|--|
| 1. 取扱説明書               | — 本機に付属。使用前に必ず読んでください。また、いつまでも正しく作業をするため大切に保管してください。 |
| 2. エアクリーナカバー           | — エアクリーナを防護し密封するカバーです。                               |
| 3. ストップスイッチ            | — つまみをスライドさせてエンジンを停止するスイッチです。                        |
| 4. スロットル固定ノブ           | — 適正なエンジン回転で固定できます。                                  |
| 5. スロットルトリガ            | — 指で操作し、エンジン回転を調節します。                                |
| 6. アーム固定ノブ             | — スロットルコントロールアームの取付け角度を調整し固定するノブです。                  |
| 7. 燃料タンクキャップ           | — 燃料タンクを密閉するふたです。                                    |
| 8. リコイルスタータ            | — スタータグリップを引いてエンジンを始動します。                            |
| 9. マフラカバー              | — マフラ（消音器）のカバーで作業者が不用意に高温のマフラに触れるのを防ぎます。             |
| 10. スパークプラグ            |  |
| 11. 曲噴管                | — 色々なゴミや落ち葉を吹き払う噴管です。                                |
| 12. 直噴管                | — 噴管を接続し長くします。                                       |
| 13. 元噴管                | — スロットルコントロールアームを取付けます。                              |
| 14. スロットル<br>コントロールアーム | — 噴管を操作すると同時にエンジン回転も調節します。                           |
| 15. 背負いバンド             | — 本機を背負う際に使用します。                                     |
| 16. フレキシブルパイプ          | — 噴管出口の方向を変えるフレキシブルな噴管です。                            |
| 17. 注意ラベル              | — ご使用前に必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。                     |
| 18. 注意ラベル              | — 作業中は必ず保護めがね、保護マスク、耳栓、保護衣を使用してください。                 |

正しい作業のために  
使用者の危険防止



**⚠ 危険・警告**

機械が不適当に使われたり、また、あるいは使用中に注意を守らないとき、使用者と他人に重大な損傷を負わず危険があります。機械を運転するときは、適切な衣類と正しい保護具を身につけてください。

- 注意深くこの取扱説明書をよく読んで十分に理解してから運転操作してください。
- 保護衣を着用し、作業靴をはいてください。つま先の開いた靴を履いたり、裸足で機械を使用してはいけません。
- 足や体がむき出しにならないように適切な衣類を着用してください。
- 作業帽をかぶり目、口、耳の保護具を着用してください。
- 髪の毛は、肩の上でしっかり結んでください。
- 燃料を扱っているときは充分注意してください。燃料タンクには、圧力がかかっているかもしれません。燃料タンクキャップを緩めるときはいつも少し緩め、タンク内圧力が下がるまで待ってから外してください。燃料補給後は、燃料補給缶と燃料タンクキャップをしっかりと締めてください。エンジンの始動は、そこから3メートル以上はなれてください。エンジン始動前には燃料タンクキャップ、機械の燃料系統から燃料が漏れていないことを確認してください。
- こぼれた燃料は拭きとってください。
- 室内、車庫、建物の中、納屋等の換気の悪い所ではこの機械を運転しないでください。
- エンジンを始動するときは、地面に機械をおいてスロットルトリガを低速位置にしてください。燃料管が地面や他の物で折曲げられているときは、エンジンを始動しないでください。
- この機械を背負ったままでエンジンを始動しないでください。
- この機械を使用する場所をチェックしてください。傷害や機械を損傷する石、金属及び他の障害物となる物は作業する場所から取り除いてください。

故障内容		原因	対策
エンジンが始動困難、または始動しない			
クランクシャフトが回転する →	キャブレタの燃料 → ↓ シリンダの燃料 →	● 燃料フィルタのつまり ● 燃料管のつまり	● 清掃する ● 清掃する
	シリンダの燃料 →	● キャブレタの不良	● 最寄りの共栄社販売店に連絡する
	マフラーが燃料で濡れている →	● 空燃比(空気と燃料の混合比)が濃すぎる	● チョークを開ける ● エアフィルタを清掃または修理する ● キャブレタを調整する ● 最寄りの共栄社販売店に連絡する
	スパークプラグ線端で火花が出ない →	● 電氣的故障	● 最寄りの共栄社販売店に連絡する
	スパークプラグから火花が出ない →	● スパークギャップが不適切 ● カーボン(炭素)の堆積 ● 燃料による汚れ ● スパークプラグの不良	● 0.6-0.7mmの範囲に調整する ● 清掃または交換する ● 清掃または交換する ● プラグを交換する
クランクシャフトが回転しない		● エンジンの内部故障	● 最寄りの共栄社販売店に連絡する
エンジンは回転する ↓	停止または加速不十分 ↓	● エアフィルタの汚れ ● 燃料フィルタの汚れ ● 燃料通路のつまり ● スパークプラグの不良 ● キャブレタの不良 ● シリンダフィンのつまり ● 排気口/マフラーのつまり	● 清掃または交換する ● 交換する ● 清掃する ● 清掃し調整または交換する ● 調整する ● 清掃する ● 清掃する

## 保管

### 長期保管 (60日間以上)

機械を長期間 (60日以上) にわたって保管する場合は、以下に示す保管の際の整備を必ず実施してください。

1. 機械を乾かし、子供の手の届かないホコリのない場所に保管してください。

#### ⚠ 危険・警告

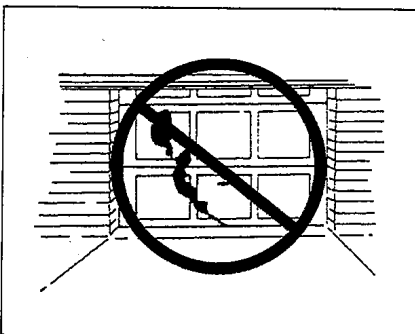
燃料ガスが充満している密閉された場所や、裸火、火花のあるそばに保管しないこと。

2. ストップスイッチを停止位置にしてください。
3. 機械の外側に付いたグリース、オイル、ホコリ、ゴミ等をきれいに拭き取ってください。
4. 本書に定められた定期的な注油と点検をしてください。
5. スクリュー、ナット類を締めなおしてください。

6. 燃料タンクを完全に空にしてください。
  - A. 燃料フィルタをはずし、燃料パイプから燃料を抜き取ってください。
  - B. 燃料フィルタを元の位置に取り付けてください。
7. スパークプラグをはずし、その取付穴から大きさ1/2杯の、新しくきれいな2サイクルエンジンオイルをシリンダに入れてください。
  - A. スパークプラグの取付穴の上にきれいな布をかけてください。
  - B. スタータグリップを2、3回引いて、エンジンオイルをエンジンに行き渡らせてください。
  - C. スパークプラグ取付穴からピストンの位置を確認してください。スタータグリップをゆっくり引き、ピストンが最も上のところで止めるようにしてください。
8. スパークプラグを取り付けてください。  
(スパークプラグキャップは接続しないでください。)

#### 重要

この取扱説明書は、いつでも読めるよう保管してください。



- 足場の悪い所ではこの機械を使わないでください。
- 機械の始動時、また使用時は、その場所に他の人、また、ペットを近付かせないでください。
- 噴管を人や動物へ向けしないでください。
- 噴管とパイプは、いつもしっかり握ってください。
- この機械を扱う際、高温によるやけどを防止するため、手や体をマフラやシリンダ等の高温部に触れないようにしてください。
- 整備の良くない機械や自分勝手な改造品を取り付けた機械を使わないでください。

### 騒音を抑さえ静かに運転

#### ⚠ 注意

機械を使用する前に、騒音値と使用時間に関する規則を調べ、それに従ってください。

- 夜遅くまたは朝早く近隣の人に騒音で迷惑をかける様なときは、この機械を使うことを避けてください。
- 仕事が出来た最も低いエンジン回転数で機械を使用してください。
- マフラが、正常に機能していることを確認してください。機械が適切に作動するように、空気吸入部分とエアフィルタもチェックしてください。
- 機械を運転しているときは、耳栓等を使用してください。

### 身体的条件

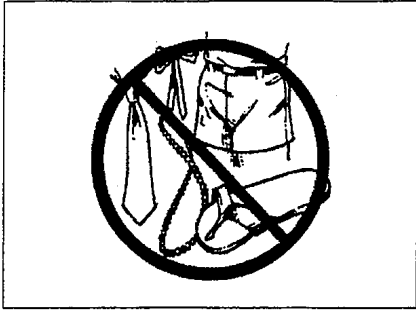
あなたが病気のとき、薬を飲んでいるとき、お酒を飲んでいるとき、及び薬物を飲んでいるときは、この機械を使用しないでください。あなたが健康なときだけに、この機械を運転してください。

### 湿度の高いとき

保護用の衣類は汗をかき、疲労を増します。健康にはご注意ください。

### 目、口、耳の保護

- 目の保護にゴーグルを着用してください。
- 呼吸器保護のためマスクを着用してください。
- 耳栓又は耳覆いを着用してください。守らないと聴力障害を起こすことがあります。



適切な防護衣を着用してください。

- ズボンは長ズボンを履いてください。ファンに吸い込まれたり、巻き込まれるダブルダブの衣服、スカーフ、ネクタイ、宝石類等は着用しないでください。
- 滑り止めのある靴を着用してください。つま先の開いている靴や裸足で機械を操作しないでください。



## 振動と冷え

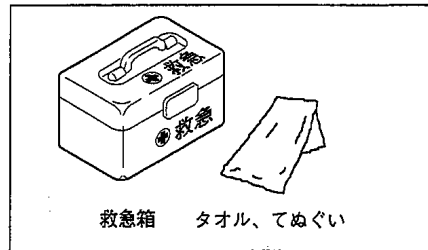
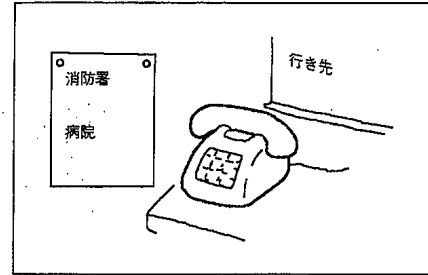
機械を操作する人の体質によっては、指にレイノ一症候群と呼ばれる症状が現われることがあります。これは振動と冷えにさらされることにより起こるとされており、指にチクチクとした痛みや、火傷のようなヒリヒリした痛みを感じ、さらには指先が白くなり感覚がなくなります。症状の現われる限度が未解明であるため、以下の注意事項を厳守してください。

- 身体を温かく保つこと。特に頭、首、脚、足首、手及び手首に気をつけて温かくしてください。
- ひんぱんに休息を取り、腕の運動を行って血行をよくして、作業時間内の喫煙はやめてください。
- ブロワーでの作業時間に制限を設けてください。毎日の作業をブロワーによる作業と、指に機械からの振動を受けない作業と組合せて行なってください。
- 指に不快感、赤み、腫れがあり、白くなったり感覚がなくなったことのある方は、これ以上振動と冷えにさらされる前に医師に相談してください。

## 反復作業による傷害

指や手、腕、肩の筋肉やすじを使いすぎると、その箇所にズキズキする痛みや腫れ、マヒ、衰弱、激痛が起るとされています。手で、一定の反復する動きを長く続けると、反復作業による傷害の危険性が高くなります。この危険性をへらすため、以下の注意事項を守ってください。

- 手首を曲げたままや伸ばしたまま、ひねったままの状態で作業をしないでください。
- 反復作業を最小限にするためと、手を休めるために、定期的に休息をとってください。反復作業をするときは、ゆっくりとゆとりをもって作業してください。
- 手、腕の筋肉を鍛えるための運動を行ってください。
- 指、手、手首、腕にズキズキする痛みやマヒを感じたら医師の診察を受けてください。早期に治療されれば、神経や筋肉の損傷を慢性にならないうちに防ぐことができます。



## 万一の事故に備えて

- 作業の前に
  - ・万一の事故に備え、電話器のそばの目につきやすい場所に、医療機関、消防署（救急車）の電話番号を明確にしておいてください。特に消防署への連絡の場合、救急車のための目標地点（住所、目標となる建造物など）も明確にしておく、的確な連絡に役立ちます。
  - ・単独で作業する場合、どこで作業を行っているかが他の人にもわかるような方法（黒板に作業現場をメモするなど）を講じてください。負傷し動けなくなり帰れない場合の対処として有効です。
  - ・作業現場には、呼子（笛）を持って行ってください。

### ●発火に対する備え

#### ⚠ 危険・警告

万一、エンジンから、発火または発煙したら、機械を身体から離し、まず、消火すること。この場合、自分の身体もよく守ること。

- ・エンジンから発火または排気口以外から発煙した場合、まず、機械を身体から離し、消火してください。
- ・自分の身体を、火災その外の傷害から守るよう注意してください。
- ・類焼しないよう注意してください。
- ・シャベルまたは油火災用の消火器を持って行ってください。

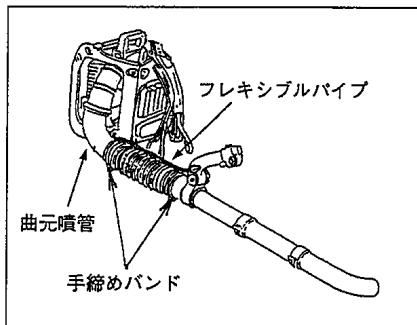
### ●ケガへの備え

- ・万一のケガへの備えとして、救急用品としては、応急手当用品の入った救急箱を用意してください。
- 出血をともなうケガについては、止血用に汗ふき用のタオルや、てぬぐいなども有効ですので、常時余分に作業現場へ携帯することをおすすめします。

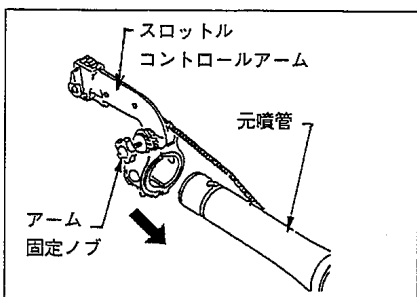
### ●応急手当

- ・応急手当については、地域の消防署や消防組織（消防団など）で知識、技能の普及につとめていますので、それらの講習、訓練を受け、基本的な知識を習得されることをおすすめします。

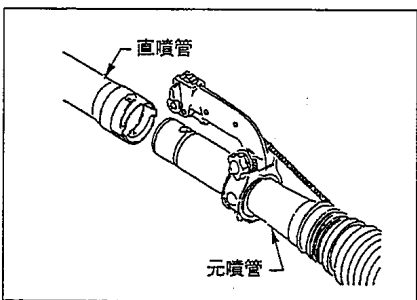
## 組立



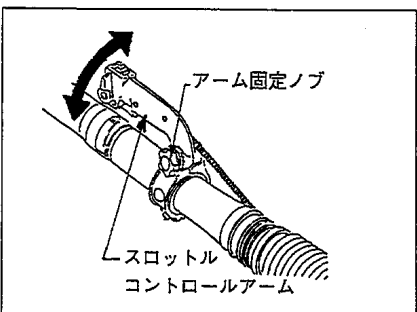
1. フレキシブルパイプを曲元噴管に組み付け手締めバンドでしっかり固定してください。



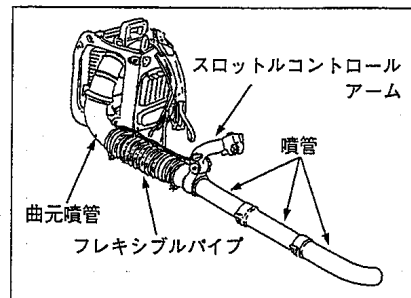
2. スロットルコントロールアームの固定ノブを回して緩め、アームを元噴管に組み付けてください。



3. 元噴管に直噴管を差しこみ左回転方向（反時計方向）にロックするまで回し、しっかり組み付けてください。同じ要領で直噴管に曲噴管を組み付けて、ください。

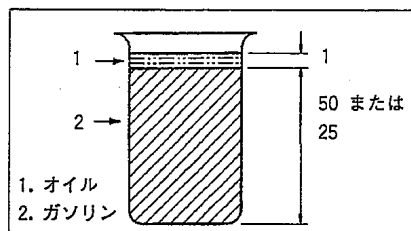


4. スロットルコントロールアームを適当な位置に動かしアームの固定ノブを手で回して、固定してください。



5. 最後に、止め輪やつまみがしっかり締め付けられているか、確認してください。

## 操作方法



### 重要

JASO性能分類：  
使用者が2サイクルオイルの選択を容易にできるように「FC、FB、FA」の3種類に性能分類し容器に表示しています。

### 燃料混合比率表

ガソリン リットル	2サイクルエンジンオイル CC	
	50:1	25:1
4	80	160
8	160	320
20	400	800

### ▲ 注意

燃料の混合は30日以内で消費できる分量だけにすること。  
燃料の混合は機械の燃料タンクで行わないこと。  
燃料タンク、燃料タンクキャップ、燃料タンクブリーザ、燃料パイプなどは使用前に点検し、異常が発見された場合は交換してください。

### 燃料

- 本機の燃料にはレギュラーガソリンと、2サイクル用エンジンオイルを混合した燃料を使用してください。正しくない燃料はエンジン機能不良の原因となります。
- 燃料の混合比は、2サイクルエンジンオイルの種類により下記の通り使用してください。  
[50:1]  
・2サイクル専用オイル  
JASO性能分類 FC相当品  
[25:1]  
・市販の2サイクルエンジンオイル  
JASO性能分類 FB、FA相当品
- ガソリンとオイルの混合は確実な容器を使用し、良く混合してください。

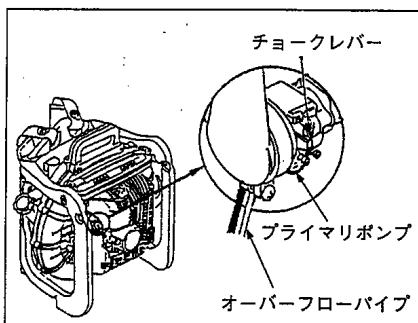
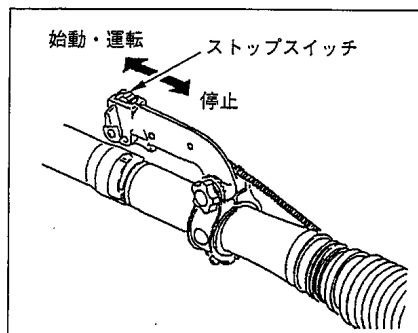
### 燃料の取扱い

- 燃料の近くでタバコをすったり、炎や火花を近づけたりしないでください。
- 燃料の補給は必ず屋外で行ってください。
- 燃料の補給は、エンジンが熱いうちや、回転中に行わないでください。
- 燃料容器は確実なものを使用してください。
- 燃料補給後、こぼれた燃料は必ず拭きとってください。
- エンジンをかける前に必ず、燃料を補給した場所から最低3メートル移動してください。
- 燃料タンクに燃料が残っている状態で機械をしまわないでください。燃料もれがあった場合火災の原因となります。

## 冷えたエンジンの始動

### 重要

リコイルスタータ：スタータロープは、半分位引いてエンジンをかけてください。引いた後は、スタータグリップを離さずに、戻してください。機械はいつもしっかり保持してください。



1. ストップスイッチを運転の位置にしてください。
2. オーバーフローパイプに燃料が見えるまで、プライマリポンプをくり返し押ししてください。
3. チョークを作動させ、エンジンの初爆音が、聞こえるまで、スタータグリップを引ってください。
4. 初爆音が、聞こえたらチョークを戻して、エンジンが、かかるまでスタータグリップを引ってください。

## 暖まったエンジンの始動

1. スイッチを入れ、エンジンがかかるまでスタータグリップを引ってください。チョークは、使わないでください。

### 注意

もし、2~3回スタータグリップを引いてもエンジンが、始動しないときは、冷えたエンジンの始動の要領で、始動してください。

## エンジンの停止

1. スロットルトリガを離し、エンジンを低速で、2~3分回します。
2. ストップスイッチを停止 (STOP) の位置にします。

### 危険・警告

もし、エンジンが停止しないときは、チョークレバーを閉の位置にしてください。再度エンジンを始動させる前に、ストップスイッチを点検、修理してください。

## 運転

### 危険・警告

いつも安全ゴーグルを着用し、マスクを使用してください。(この取扱説明書の安全の項目を注意してお読みください。)

### 重要

エンジンの過回転による損傷を防ぐため、噴管は、塞がないでください。

### 重要

ネジ、ナット、ボルトの緩みに付いては、毎日点検してください。

1. 2~3分間低速で、エンジンを暖めてください。

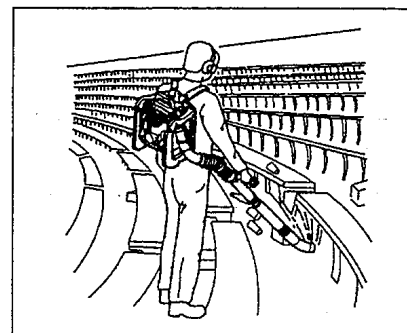
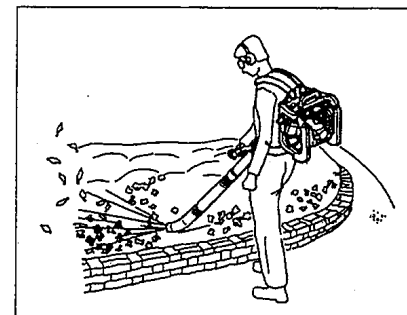
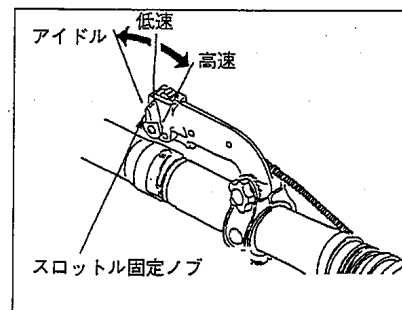
### 注意

パロネス スーパーブロワーSB80は、2,500~6,500回転で運転されます。従って、風速も低速から高速までお望みの風速でご使用になれます。庭の枯れ葉からスタジアムの空缶・空瓶まで幅広い作業が可能です。

### 注意

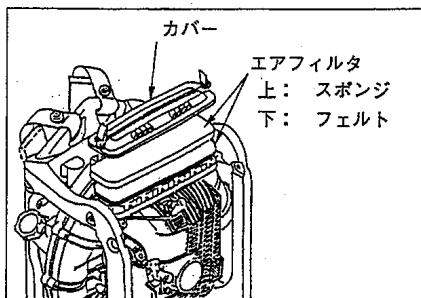
スロットルトリガで回転を調整すると、風速も回転に応じて変化します。スロットル固定ノブを作業に合った位置にセットすると、一定の風速で作業できます。ただし、セット位置からスロットルトリガを握ると最高回転まで回転が上りますので、ご注意ください。

2. 枯れ葉や花壇のごみ・枯れ草等を掃除する場合は、低速で作業してください。
3. 歩道、中庭、車道等を掃除する場合は、余裕のある中速で作業してください。
4. パーキングエリアやスタジアムの空缶・空瓶等を掃除する場合は、余裕のある高速で作業してください。





## 点検・整備



### エアフィルタ

#### ▲ 注意

毎日掃除をしてください。

1. チョークを開め、ちょうナット、カバー、エアフィルタを取り外します。
2. エアフィルタのゴミを落とし、フィルタをガソリンで洗ってください。
3. エアフィルタを乾かしてから組み付けてください。

### キャブレタの調整

一般

#### ▲ 注意

不必要にキャブレタは、調整しないでください。  
もしキャブレタでお困りの際は、お求め先にお持ちください。  
調整をするときは、いつも噴管をつけて行ってください。

スロー調整ネジは、低速時のスロットルの開度を調節します。

低速調整ネジは、エンジン低速時の燃料の量を調節します。

また、低速から高速へのスムーズな移行のための燃料を調整しています。

高速調整ネジは、フルスロットル時の燃料の量を調節しています。

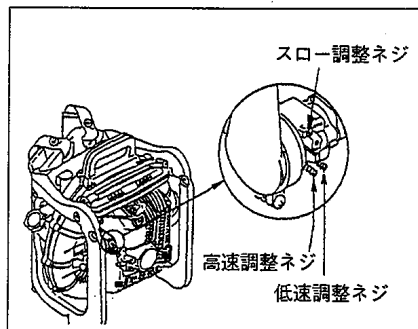
調整

#### ▲ 注意

高速調整ネジ、低速調整ネジの先端は尖っています。

キャブレタを損傷させないために、ネジを本体に差し込むときは、必要以上の力を入れないでください。

1. 高速調整ネジ、低速調整ネジを時計方向に静かに回し締め込んでください。
2. 低速調整ネジを反時計方向に1-1/8 (1回+1/8) 回してください。
3. エンジンを始動させ、低速の最も高い回転数でエンジンを暖めるため、2~3分間回してください。



#### ▲ 注意

スロー調整ネジは、エンジンが、停止しないように再調整してください。

低速調整

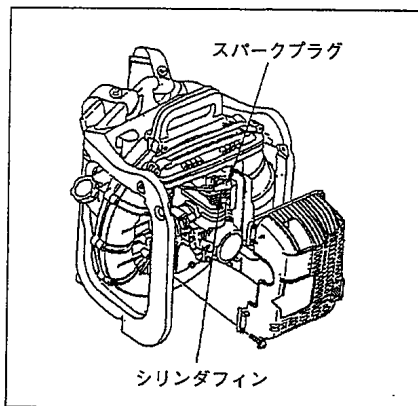
1. 低速調整ネジを時計方向に静かに回し、エンジン回転が落ち始めるの所を見つけてください。
2. 低速調整ネジを反時計方向に静かに回し、エンジン回転が落ち始めるの所を見つけてください。
3. 低速調整ネジを上 の 2 点 の 中 間 に セ ッ ト し て ください。
4. スロー調整ネジを時計方向に回し、エンジン回転を2500~3400回転にセットしてください。

高速調整

#### ▲ 注意

エンジンを、通常の使用時の温度にしてください。

1. 高速調整ネジを反時計方向に、1-1/4回してください。
2. エンジン高速で回転させながら、高速調整ネジを時計方向に、回転がスムーズになるまで、ゆっくり回してください。
3. 作業状態で、最高のパワーのための燃料にするために、高速調整ネジを反時計方向に回転、回してください。
4. もし、エンジンの加速がスムーズでないならば、高速調整ネジを反時計方向に1/8~1/16回転、回してください。

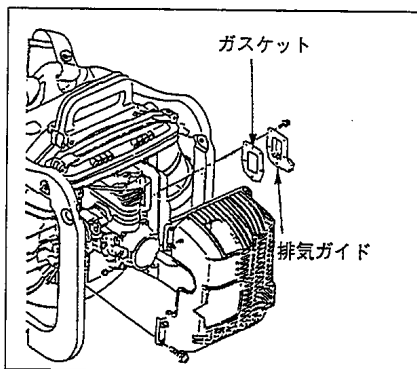


## 冷却システムの保守

### ▲ 注意

適切なエンジン運転温度を維持するためには、冷却するための空気が自由にシリンダフィンの部分を通過することが必要です。この空気の流れがエンジンが燃焼する際の熱を取り去っています。以下の場合エンジンのオーバーヒートと焼き付きを起こす原因になります。

- 空気取入口がふさがれていて、シリンダに冷却空気が入らないとき。  
または
- ゴミや草がシリンダの外側に堆積していて、これがシリンダと外気を遮断し、エンジンの熱の放出が妨げられるとき。冷却空気の通路の障害物を取り除いたり、シリンダフィンの汚れを取り除くのは「日常の整備」です。「日常の整備」の不足によって発生した、いかなる損害も補償されません。

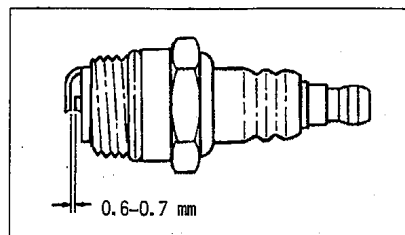


## マフラ（排気消音器）と排気口

### ▲ 注意

シリンダ排気孔とマフラのカーボンの堆積は、エンジン出力の低下、オーバーヒートの原因となります。マフラの出口を点検してください。

1. マフラカバー、ガスケットとマフラを外してください。
2. シリンダ、ピストンに傷をつけないように、注意してシリンダ排気口のカーボンを落としてください。
3. 排気ガイドを取り外し、カーボンを取り除いてください。
4. 排気ガイド、ガスケットを取りつけてください。
5. ガスケット、マフラ、カバーを取り付けます。

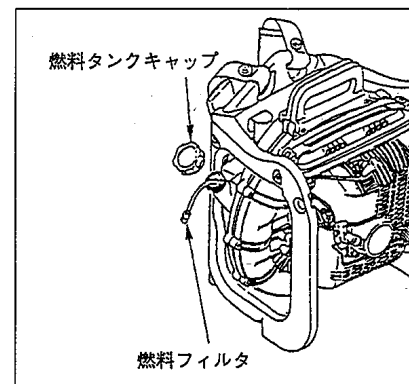


## スパークプラグ

1. スパークプラグの汚れ、カーボンを掃除します。
2. プラグギャップを0.6～0.7 mmに調整します。
3. スパークプラグを取り付けます（締めつけトルク： $145 \sim 155 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ ）

### 重要

スパークプラグを締め過ぎないでください。



## 燃料フィルタ

### 重要

燃料タンクは清潔にしてください。ゴミや塵をタンクに入れないでください。

### ▲ 注意

詰まった燃料フィルタは、始動困難、エンジン出力の低下の原因となります。

1. 針金を使い、燃料注入孔から、燃料フィルタを引き出してください。
2. 古い燃料フィルタをはずします。
3. 新しい燃料フィルタを付けます。

整備の目安

整備箇所	整備	掲載ページ	使用前	毎月	毎年
エアフィルタ	清掃/交換	12	●		
燃料フィルタ	点検/交換	15		●	
燃料管	点検	—		●	
スパークプラグ	点検/清掃と調整/交換	15		●	
キャブレタ	点検	12			●
シリンダフィン	点検/清掃	14		●	
マフラ (排気消音器)	点検/清掃	14			●
スタータロープ	点検/清掃	—	●		
燃料系統	点検/修理	—	●		
ねじ、ボルト、ナット類	点検、ねじ類の増締め/交換	—	●		

**▲ 注意**  
 年単位および月単位の整備に要する日数間隔については実際の使用と経験から判断してください。

仕様

項目	単位	SB80
重量	kg	9.5
容量 燃料タンク	ℓ	1.9
外形寸法 (本体) 長さ×幅×高さ	mm	320×460×440
エンジン 形式 排気量 キャブレタ 点火方式 スパークプラグ 始動方式	cm <sup>3</sup>	空冷2サイクル単シリンダ 44.0 ダイヤフラム式 フライホイールマグネット: CDI方式 NGK BPM7Y リコイルスタータ
燃料 混合比 [ガソリン:2サイクルエンジンオイル]		[50:1] ・2サイクル専用オイル JASO性能分類 FC相当品 [25:1] ・市販の2サイクルエンジンオイル JASO性能分類 FB,FA相当品
送風機 基準回転数 送風機最大風量 送風機最大風速 吐出パイプ	r.p.m m <sup>3</sup> /分 m/秒 mm	6,800 10.5 80.5 58

rpm: 1分間での回転速度 (回転数) を表わします。

